

※この資料は、県ホームページでも公開しています。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/inasakugijyutujyouhou.html>

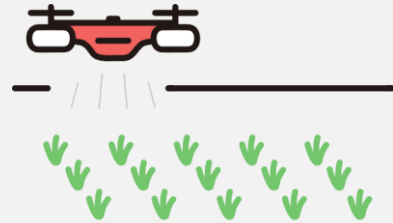
令和8年 稲作情報 vol.3



【問い合わせ先】 南会津農林事務所農業振興普及部 Tel 0241-62-5262
南郷普及所 Tel 0241-72-2243
J A 会津よつば田島営農経済センター Tel 0241-63-1172
南郷営農経済センター Tel 0241-72-2554

●チェックポイント

- ・ 田植えは風のない暖かい日に行いましょう。
- ・ 稲の生育に合わせた水管理を行いましょう。
- ・ 適切な病害虫防除を実施しましょう。
- ・ 雑草種に応じた除草剤を使用しましょう。



1 気象情報（気象庁、1か月予報 5/2～6/1）

仙台管区気象台1ヶ月予報によると、向こう1ヶ月の気温は高く、低気圧や前線の影響を受けにくいため、日照時間は平年並か多いと予想されています。降水量は平年並の見込みです。朝晩の冷え込みや、日中の高温に注意しましょう。

2 田植え前の準備

- ・ 代かきは浅水で丁寧にいき、田面を均平にします。均平な田面は、均一な生育や、除草剤の効果を十分に発揮させる上で重要です。
- ・ 漏水を防ぐために、モグラやネズミの穴がないか確認しましょう。穴があった場合は、穴を埋めた後、丁寧に畦塗りをしましょう。

3 田植え

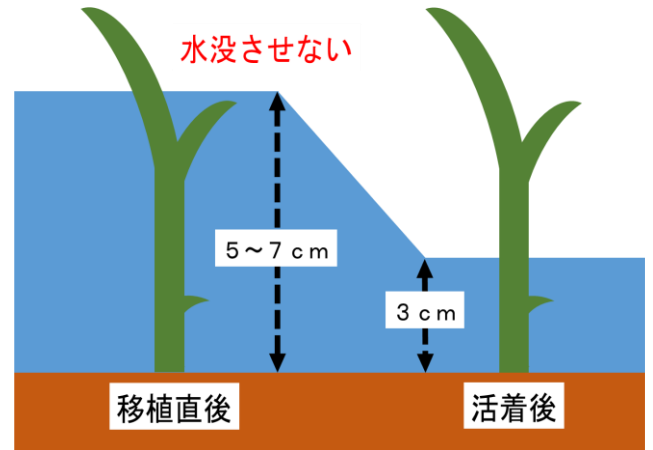
- ・ 田植え早限の目安は、苗が活着する温度である**日平均気温 13度（田島では5/12頃）**です。風のない暖かい日に田植えを行いましょう。
- ・ 雑草の発生を抑えるため、代かきから田植えまでの日数が空きすぎないようにしましょう。7日以上日数が空いてしまう場合は、初期剤を散布し、雑草の発生を防ぎましょう。
- ・ 置き苗はいもち病の発生源となるため、早急に除去しましょう。

～福島県農作業安全運動～ 【3/1～5/31】

春はトラクター等の利用が多くなり、農作業事故が発生しやすくなります。機械の点検、安全フレームを立てる、シートベルトを締めるなど安全対策を徹底しましょう。また作業はゆとりをもって行いましょう。

4 水管理

- (1) 田植え～活着（田植え後 5～10 日）
- ・ 活着までは苗が水没しない範囲で深水管理（苗先が少し出る程度）とします。
- (2) 活着後（田植え後約 1 ヶ月）
- ・ 分けつを促すため浅水管理（3 cm 程度）とします。



5 初期害虫及びいもち病対策

表 1 箱処理剤の例

薬剤名	使用時期	使用量	使用方法	適用病害虫	本剤の使用回数
デジタル ミネト 箱粒剤	移植 10 日前 ～移植当日	育苗箱（30×60×3 cm、使用 土壌約 5 L）1 箱あたり 50g	育苗箱の上か ら均一に散布 する	いもち病、イネドモイムシ、イネ ズグウムシ	1 回
	移植 3 日前 ～移植当日	高密度に播種する場合は、1 kg/10a 育苗箱（30×60×3 cm 使用土壌約 5 L）1 箱あた り 50～100g			
	移植時	1kg/10a	側条施用		
ブーン レパード 箱粒剤	播種時（覆 土前）～移 植当日	育苗箱（30×60×3 cm、使用 土壌約 5 L）1 箱あたり 50g	育苗箱の上か ら均一に散布 する	いもち病、紋枯病、イネズ グウムシ、イネドモイムシ、コブノ イガ、コメイトユ、フタヒコヤ ガ、イネトムシ、ツマグロコバ イ	1 回
		高密度に播種する場合は 1 kg/10a（育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約 5 L）1 箱あた り 50～100g)			
	移植時	1kg/10a	側条施用		

GAP に取り組んでみませんか？

GAP（農業生産工程管理）は、は種・定植等から収穫・出荷までの過程について、適切なやり方を決めて実践し、適正に行われているかチェックし、改善していく、持続的な活動のことです。

FGAP の手引き（県 HP）はこちら→



6 雑草防除

薬剤の散布後7日間は必ず止水し、落水やかけ流しを行わないようにしましょう。また湛水状態を保ち、田面が露出ないようにしましょう。

適用雑草を確認し、除草剤を選択します。また、ノビエの葉齢を確認し、防除適期を逃さないようにしましょう。

以下の表は、初期除草剤・初中期一発除草剤・中期除草剤の一例です。適応雑草を確認し、除草剤を選択しましょう。

表2 除草剤の例

分類	薬剤名	使用時期	使用量 (/10a)	使用方法	適用雑草	本剤の使用回数
初期除草剤	先陣 200 F G	植代後～移植7日前 または移植直後～ノビエ1葉期（但し、移植後30日まで）	200g	湛水散布、湛水周縁散布、水口施用または無人航空機散布による散布	一年生雑草、マツバイ、ホルイ、ハラモダガカ、ウリカ、ミズガヤツリ、ヒルムシロ、オモダカ、コウキガウ、アミトド、藻類による表層はく離	1回
	エリジャン乳剤	植代後～移植7日前まで 移植直後～ノビエ1葉期（但し、移植後30日まで）	300ml	原液湛水散布	水田一年生雑草、ハラモダガカ、ホルイ、マツバイ	1回
初中期一発剤	アットウZ 1キログラム粒剤	移植時 移植直後～ノビエ4葉期（但し、収穫60日前まで）	1kg	田植同時散布機で施用 湛水散布または無人航空機による散布	一年生雑草、多年生広葉雑草、アミトド・藻類による表層はく離	1回
	デオーレ ジャンボ	移植後1日～ノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	小包装（パック） 10個 (400g)	水田に小包装（パック）のまま投げ入れる	一年生雑草及び多年生広葉雑草	1回
中期除草剤	ツイゲキ1キログラム粒剤	移植後14日（稲5葉期以降）～ノビエ4葉期（但し、収穫60日前まで）	1kg	湛水散布または無人航空機による散布	一年生雑草、多年生雑草、アミトド・藻類による表層はく離	1回

**次回 水管理、雑草・病害虫防除について
5月中旬発行予定**